

～足頼り ④～

2022年1月28日

何かをはじめめるための一歩。ご自分の足が頼りです。
大切な足を守り、ご自分の足で歩き続けるための「足頼り」はじまりはじまり。

2022年がはじまりました。

今年もまだまだ、新型コロナウイルス感染症予防のためマスク着用と手洗いをしっかり行っていく必要があります。自分と大切な人を守るため感染対策をしっかり継続していきましょう。

さて、突然ですが『健康診断』皆さんは職場や町内会で1回/年くらい受けているのではないのでしょうか。足はどうでしょう？ご自分の足は健康ですか？実は、水虫(白癬症)かもしれない…。爪水虫(爪白癬)なのかな？そんなお悩みを抱えている方も多くいるかもしれません。白癬症・爪白癬は日常生活に大きな支障を感じないために放置してしまいがちです。しかし、白癬症・爪白癬が蜂窩織炎などの感染症を引き起こすきっかけになる可能性もあります。受診するのが恥ずかしいと思う方もいると思いますが自分で判断せず早めに専門医(皮膚科)受診をおすすめします。

足趾間や足趾・足底の境目の皮むけ

足趾間じくじく

自分が白癬症？なんて
考えたくないけど。
気になっているなら
早めに受診を

白癬症は治療を
すれば治ります！

角化・小水疱

例えば、手指にケガをした時「ばい菌が入ったら大変！」ときれいに洗って(消毒)してカットバンを貼るなど傷の処置をしたいと思います。ばい菌が入ったら大変！！なので。しかし、白癬症・爪白癬の足は常に「白癬菌」という菌が住み着いています。ばい菌が常にいるその足にケガをしてしまうと傷からばい菌が入り感染症を引き起こす可能性が高くなってしまいます。足は約コップ1杯/日の汗をかきます。靴の中は湿った環境となり、白癬症にとっては居心地の良い環境になります。足は毎日そのような環境に置かれています。足の健康を守るためにも「足の観察」を常日頃から行い疑わしきは早めに受診。これ大事なことです。